

脱炭素まちづくりアドバイザー紹介

氏名	高松 重和 (たかまつ しげかず)	所属	北海道赤井川村	
専門領域	・脱炭素・再エネ計画策定 ・地域脱炭素推進の住民対話 ・庁内合意形成 ・官民連携の経験(地熱開発、小水力発電) ・温泉熱利活用	居住地域／活動地域	北海道赤井川村／北海道、全国	
キーワード	太陽光、小水力、地熱、防災レジリエンス、地域マイクログリッド、EV・モビリティ、省エネ、初期段階におけるビジョン・方向性の検討、区域施策編の策定、地域間連携、官民連携、住民や事業者との合意形成、事業計画・事業性評価、事業体制構築、地域新電力、エネルギー会社設立、資金調達	派遣形式	スポット型	
略歴	1993年 赤井川村入庁(福祉・農政・総務) 2012年 総務課総務係長 2014年 産業課地域振興係長(地熱開発理解促進・道の駅開業担当) 2016年 総務課総務係長 2018年 総務課主幹(兼総務係長／再エネ担当) 2019年 総務課長			
過去の地方公共団体との関わり	・民間事業者による地熱発電開発調査に関する地元自治体担当者となり、地熱開発理解促進事業を経験(2015～2016年) ・民間事業者と赤井川村のコンソーシアムによる小水力発電事業可能性調査を経験(2019～2022年) ・赤井川村エネルギービジョン、ゼロカーボンビレッジAKAIGAWA推進戦略構想(地球温暖化対策計画)の策定、推進を経験(2020年～) ・北海道大学、民間企業、赤井川村との連携による「地域におけるCO2リアル排出量の推計」を経験(2022年) ・公共施設における温泉熱カスケード利用可能性調査、熱利用設備導入を経験(2020年～)			
一言	北海道の小さな自治体の職員として、産・学・官と様々なご縁を通じ、地域内の未利用資源の活用や脱炭素施策を担当しています。地域の脱炭素を進めるうえでは、エネルギー転換のみならず、地域公共交通、農業、住宅、教育、福祉などと結び付けて考えていく必要があるのだと実感しています。私の「経験値」が小さな自治体の一歩目のきっかけとなれば幸いです。			
参考URL	◆北海道市町村振興協会:脱炭素ガイドブック このまちの脱炭素物語 https://do-shinko.or.jp/zerocarbon/interview02 ◆ゼロカーボンビレッジAKAIGAWA推進戦略 https://www.akaigawa.com/manage/wp-content/uploads/2023/04/50477fad649ce3e43367a9f145608758-1.pdf ◆日本で最も美しい村連合:オンライン大学 赤井川村 https://utsukushii-mura.jp/assets/uploads/2023/03/e9101cb2c53c1fe9ff528a2fcb1ad8d5.pdf			